

令和4年度日本教職大学院協会研究大会

基調講演 概要

日 時：令和4年12月10日（土）10：00～12：00（予定）

開催方法：Zoomによるオンライン配信

（配信元会場：福井大学総合研究棟I 13階 大会議室）

テーマ：「専門職の資本を基軸に据えた教師政策

～国際的な教師教育改革の動向を踏まえて～」

趣 旨：

教職は今、十字路口に出くわしている。そしてその十字路口は世界の頂点に位置づいている。前代未聞なほどに、現在の教師の使命と未来は重要性を増している。現在、人々の間で幅広く受け入れられている認識の一つは、子どもの学びと学業成績に影響を及ぼす学校内の諸要素の中で最も重要なのが教師、ということである。スタンダードや評価や教育資源でもなく、さらに学校のリーダーシップでもなく、最も大切なのは紛れもなく教師の質であり、教師こそが最も重要なのである。

ハーグリーブス&フラン著『専門職としての教師の資本』（金子書房, 2022年）3頁

本基調講演では、世界中の教育改革を支援し、そのプラクティカルでクリティカルな分析から教師の専門性、同僚性、学校改革に関する多彩な重要概念を導き出してきたアンディ・ハーグリーブス教授から、教員養成・採用・研修のすべてを含めたこれからの我が国の教師政策のあり方と進むべき展望についての洞察と示唆をいただく。講演ではまず、ハーグリーブス教授がキャリア初期にマイケル・フラン氏らと展開してきたカナダ・オンタリオ州における教師教育改革の実践を共有いただいた上で、教師政策における教職大学院の布置と使命を確認する。そして、国際的な教師教育改革の動向を紹介いただきながら、「専門職の資本（Professional Capital）」の概念を基軸に据えた教師政策のグランドデザインを提示いただく。また、ポスト・コロナの観点から、学校のウェルビーイングと子どもたちのエンゲージメントを実現する新時代の教師の役割、実践、そして専門性についてのハーグリーブス教授のパーспекティブを共有いただく。

コメンテーターには、我が国の教師政策の展開を支えてきた秋田喜代美教授をお招きしている。秋田教授の洞察からハーグリーブス教授のさらなる洞察を引き出していただき、新時代の教師政策の議論をフロアと共にダイナミックに展開していく。

参会者の皆様には、本基調講演のテーマにある「専門職の資本」について同名の著書・翻訳書を事前に吟味いただき、この協働・共創の議論にエンゲージメントしていただけると幸いです。

※敬称略

講師：アンディ・ハーグリーブス（オタワ大学教授）

コメンテーター：秋田 喜代美（学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授）

司会：木村 優（福井大学大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学
連合教職開発研究科教授）